

2020年4月22日

高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、土庄町、三木町、綾川町、
琴平町の小児生活習慣病健診を受診された方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、小児生活習慣病予防健診で得られる検査結果を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、行っております。この研究に関するお問い合わせ、検査結果の利用を拒否される場合などがありましたら、健診を行った年の3月末までに以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。ただし、2019年度までに健診を受けた方に関しては、すでに個人の情報がわからない形でデータとなっているため、データの削除は行えません。予めご了承ください。研究への検査結果の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 小児生活習慣病予防健診を用いた血清尿酸値と運動後急性腎障害に関する後ろ向き観察研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属]

香川大学医学部附属病院 循環器・腎臓・脳卒中内科学 祖父江理

[研究の目的]

最近の報告で小児の高尿酸値や低尿酸血症も健康に悪影響をきたすと言われていています。例えば高尿酸血症は将来のメタボリックシンドロームのリスクであり、低尿酸血症は運動後急性腎不全という10歳～30歳頃に好発する病気のリスクであると言われていています。運動後急性腎不全は学校生活での運動で起こることが多く、生活指導で腎機能悪化の予防が期待できるため、好発年齢以前に低尿酸血症の診断を行うのが理想的です。しかしながら小児における尿酸値は基準値を含めて不明な点が多いため、我々は小児における尿酸値の実態とそれに影響する因子を明らかにすることを目的とします。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2014年度～2025年度の間高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、土庄町、三木町、綾川町、琴平町の小児生活習慣病健診を受診した方

○利用する検体・診療情報

特定健診の結果(尿酸値、年齢、性別、生活習慣、肥満度、HbA1c、LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪、γGTP、ALT、AST) 生活習慣は問診表にて記載。

[研究組織]

【既存情報の提供施設およびその施設の提供責任者】

高松市教育委員会：松村由樹子、丸亀市教育委員会：三名本智美、坂出市教育委員会：
國木良輝、善通寺市教育委員会：北谷英樹、土庄町教育委員会：羽座則史、三木町教育
委員会：住田英実、綾川町教育委員会：伊賀有哉、琴平町教育委員会：川瀧啓久

[研究代表者]

香川大学医学部附属病院 循環器・腎臓・脳卒中内科学 南野哲男

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、
他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する特定健診を受けられた方の個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん
個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表され
ますが、その際も特定健診を受けられた方を特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院腎臓内科 担当医師 祖父江理

電話 087-891-2150 FAX 087-891-2152